

僕は殺されるのかもしれない。

寝取つて

しまった話。

元ヤンの夫を持つ、
弁当屋のオバサンを





お弁当屋の
かなこさんだ。

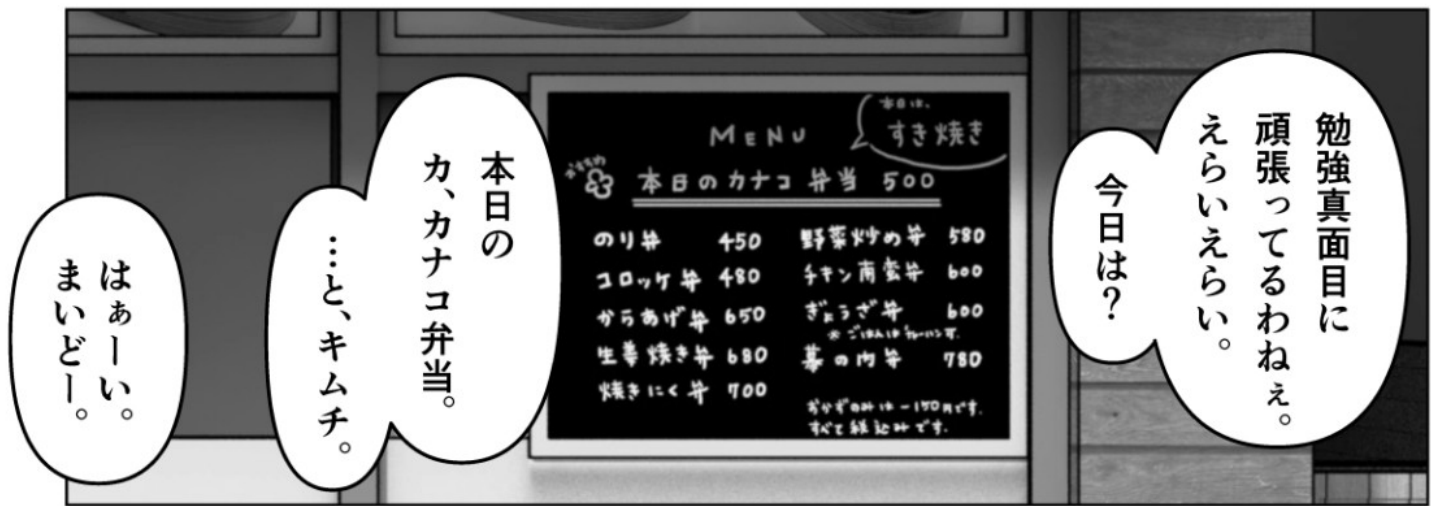
マモル君
今帰り？

お帰りなさい。

ただいま…です。

あ…。

キョド…



小僧…、
何見てんだあ？



うわあああああつ！

ウチのに手を出そうと
してんじゃねえだろうなあ…。



殺すぞテメエ！



ち、ちよつと
あんた！

このバカッ！
お客さんだよ。

働きもしないで
何やってんだい！
小遣いやんないよ！

からこめ…
パチンコ負けて
イライラしてたんだよお…。



ごめんねえ。
後でキツく
叱っておくから。

だ、大丈夫です。
ちよつと驚いただけなので。



トキ
トキ
ドキ

ありがとうございますー！

恐えー！
かなこさん、なんであんなヤツと
結婚したんだろう。



かなこさん大変ねえ。

旦那さん元ヤンで
全然働いてないんだって。

ええっ？

お金心配じゃあないの？
私なら別れるわあ。

そうだ、そうだ！



それがね、ここだけの話よ？

うちの旦那が隣町の夜のお店で
似た人を見たんだって。

ええ？

たしかにキレイだけど。
もう42歳でしょ？
まさかねえ…。

え？

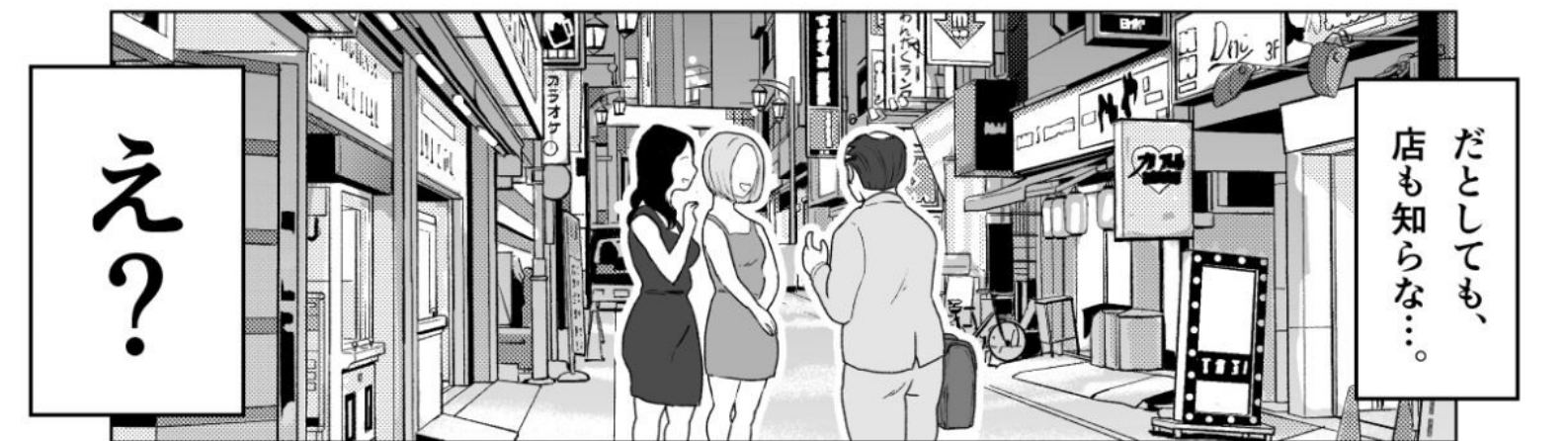
夜の…？





気になって
来てしまった…。

本当なのかも
わからないのに…。



だとしても、
店も知らな…。

え？



ヤベっ！

…見つかった。

ウソでしょ！
かなこさん…。



い、いたッ



私にも、
あなたみたいな、

真面目で
優しい子ができたのかしら。

だったら良かったのにな。

…なんてね。

あー。

私酔っ払ってるわー。
ごめんね、引き留めて。

ここで働いてることは
2人の秘密ね。

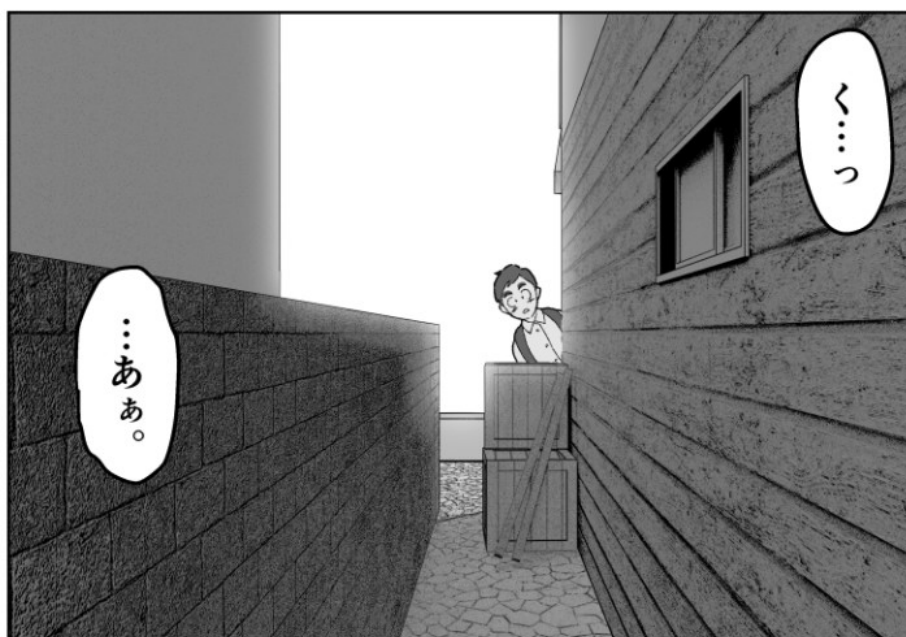
心配して来てくれて
ありがとう。

…嬉しかったわ。

過去を打ち明けてくれた
かなこさん。

その無邪気な笑顔から、
自分への信頼を感じて…。

どこかですべきな事を
期待して来た、
自分が恥ずかしかった。





ちゅ、うるせえな。

俺が一旦こうなったら
収まんねえの知ってんだろ。

ちよつイヤッ
やめて！

ハッ



いたッ
いい加減にして！



ああッ！

グッ



クッ



やめろ……っ
嫌がつてるじゃないかッ！







だからもっと突いて、
奥ッ、おくう！

あー
しゃあ
あー



わかってんだよ。
本当は無理やりが良いの。

ん…そうよッ
好きいい！

ドッ
ドッ
ドッ

ドッ
ドッ
ドッ

ドッ
ドッ
ドッ

ドッ
ドッ
ドッ



上品ぶりやがって！
変態のくせに！

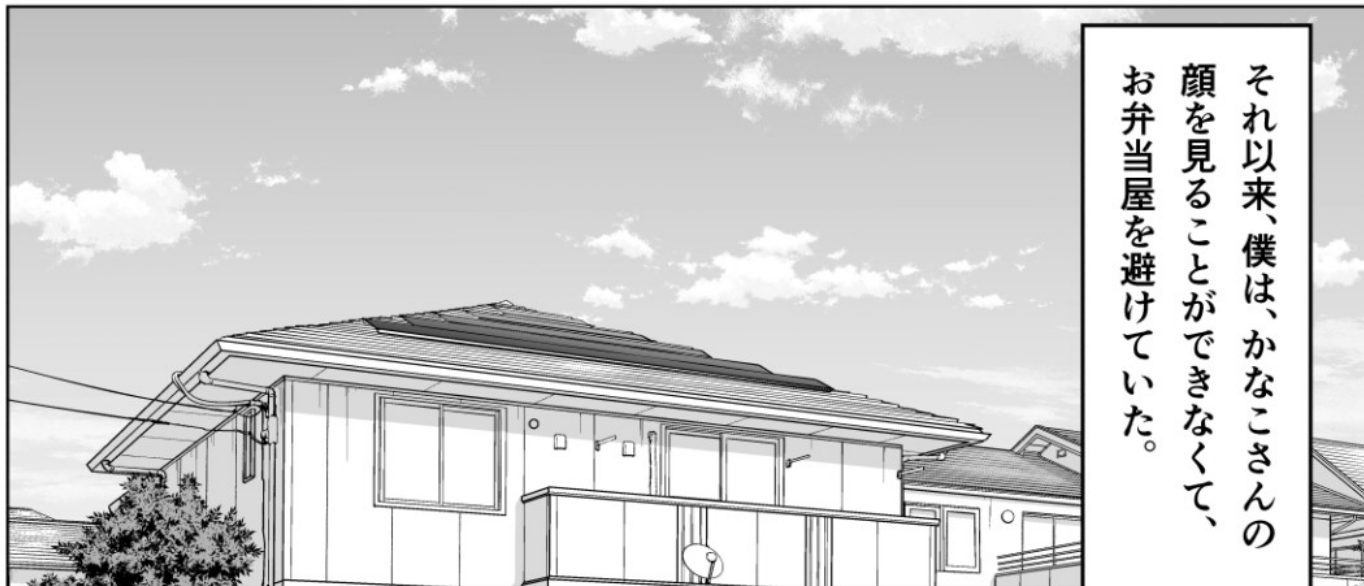
ぞり
ぞり
ぞり

んいいッ！
ごめんなさい。

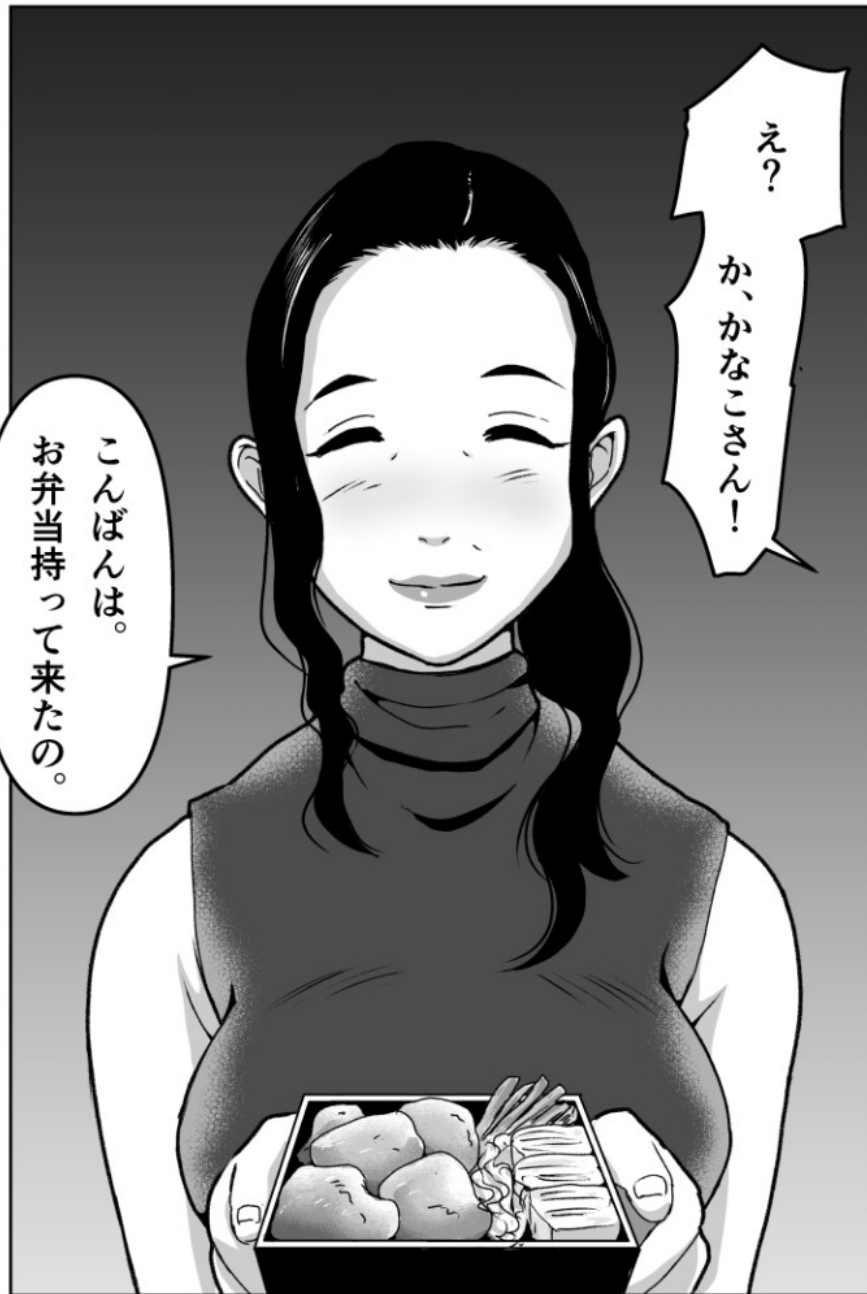




それ以来、僕は、かなこさんの
顔を見ることができなくて、
お弁当屋を避けていた。







え？

か、かなこさん！

こんばんは。
お弁当持って来たの。



その夜。



はい。

ガク



最近買いに来ないし、
具合でも悪いんじゃないかって

そ、そんなんじゃ…。

ちがうの？
仲良くなれたと思ってたのに、

なんだか急に
よそよそしいんだもの。
気になるじゃない。

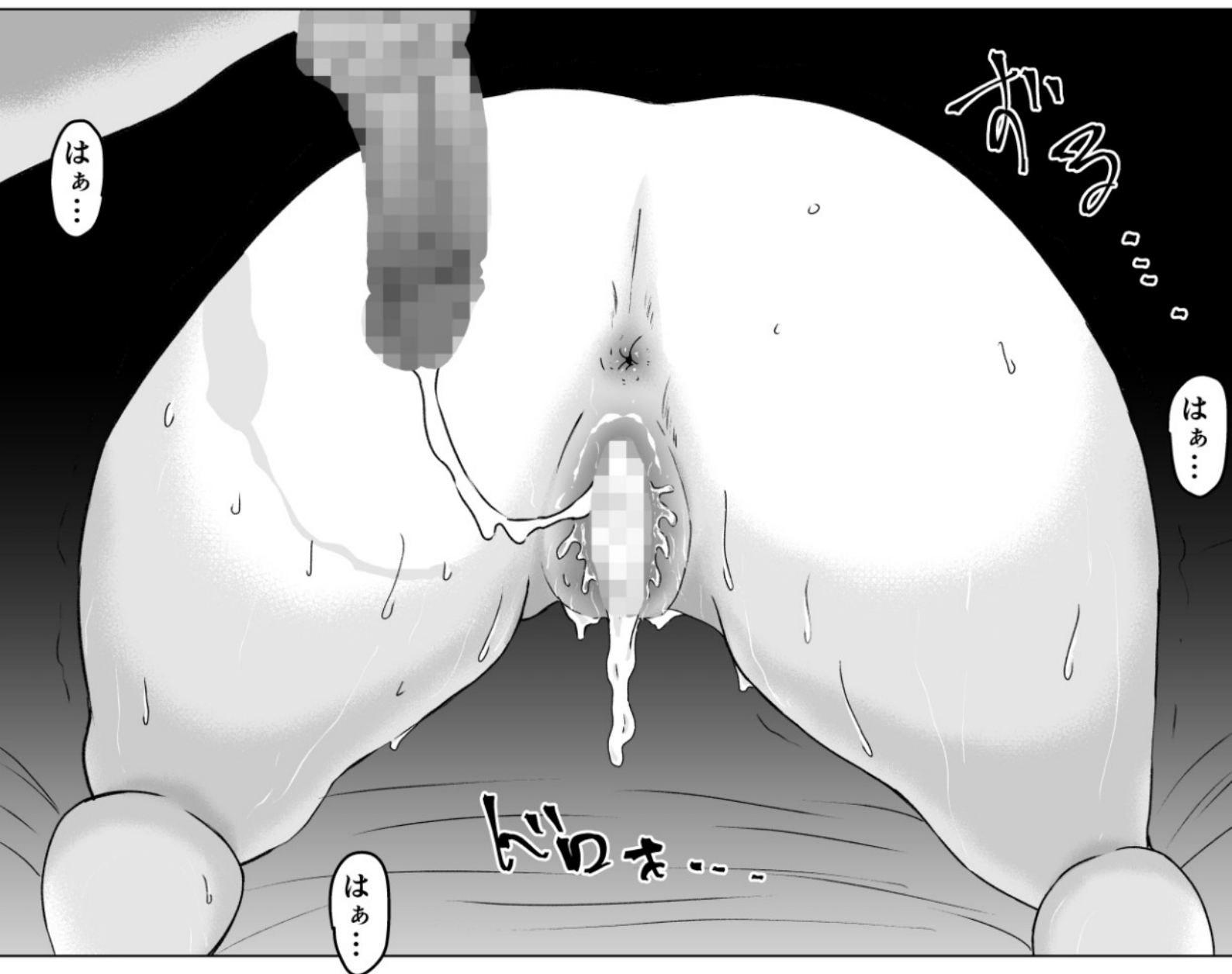
……。

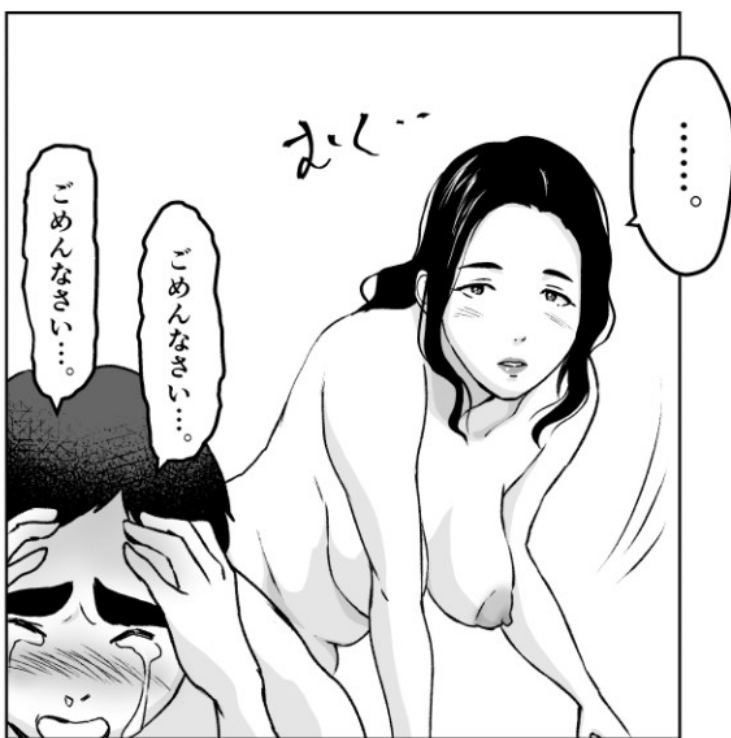










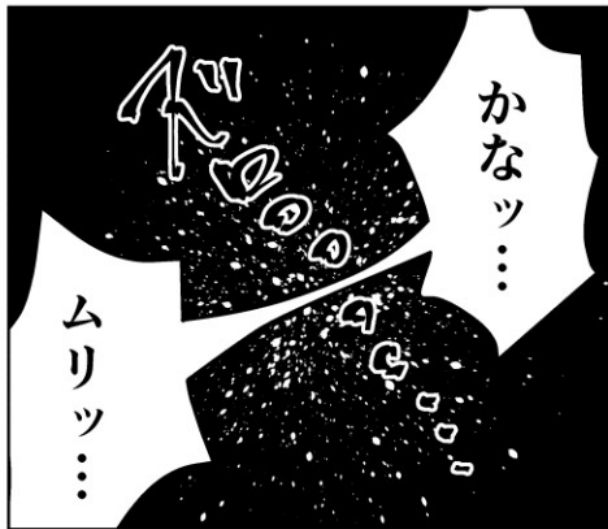


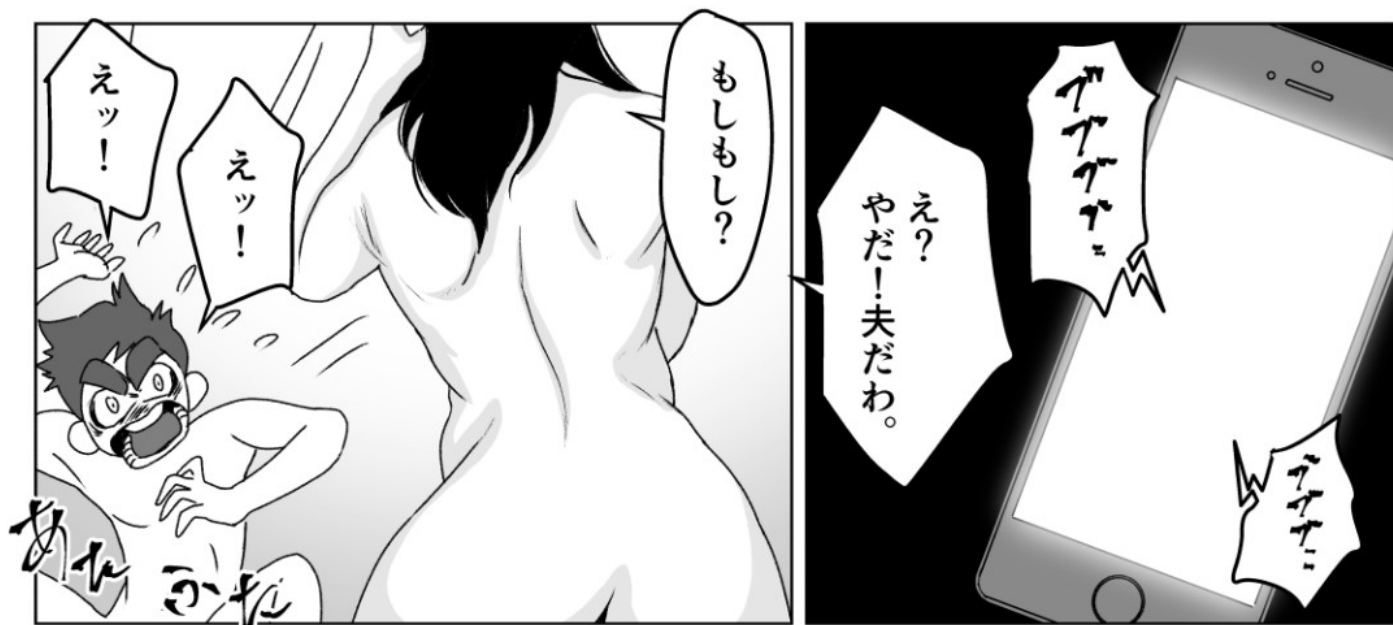




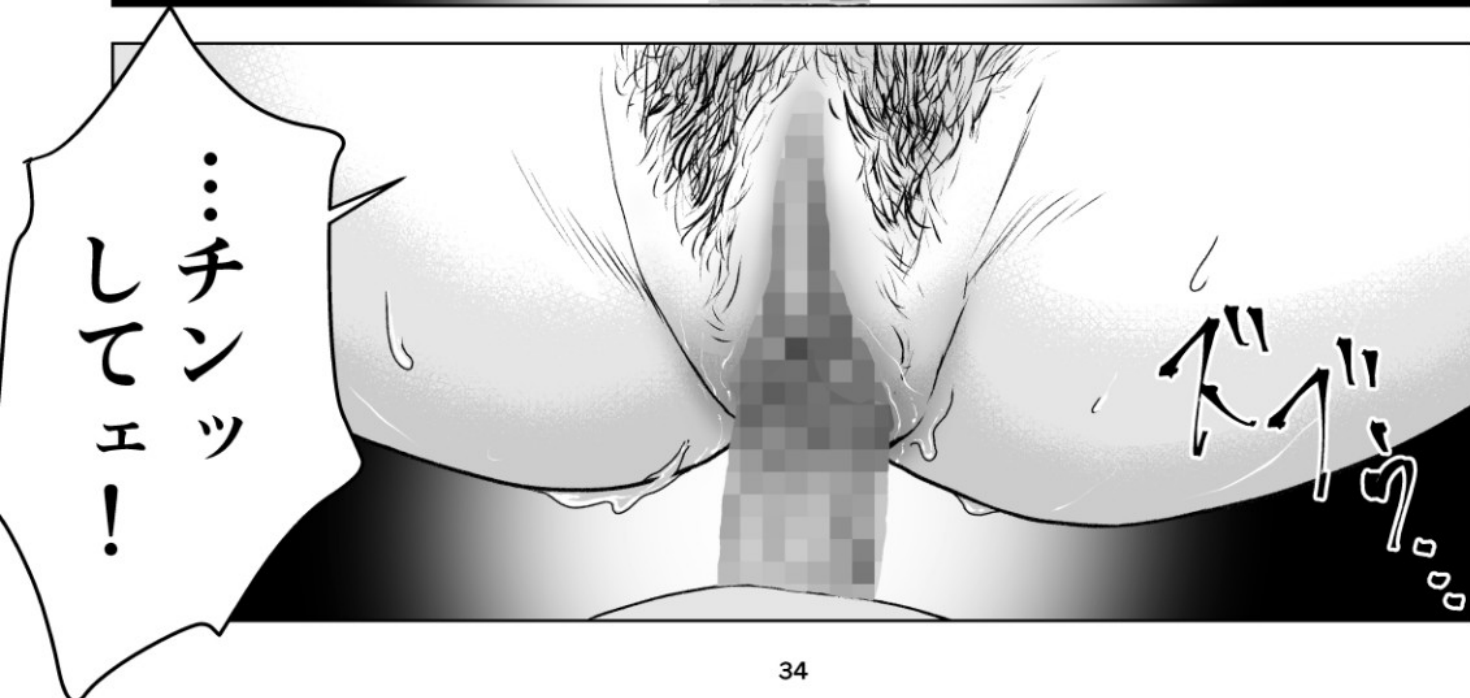
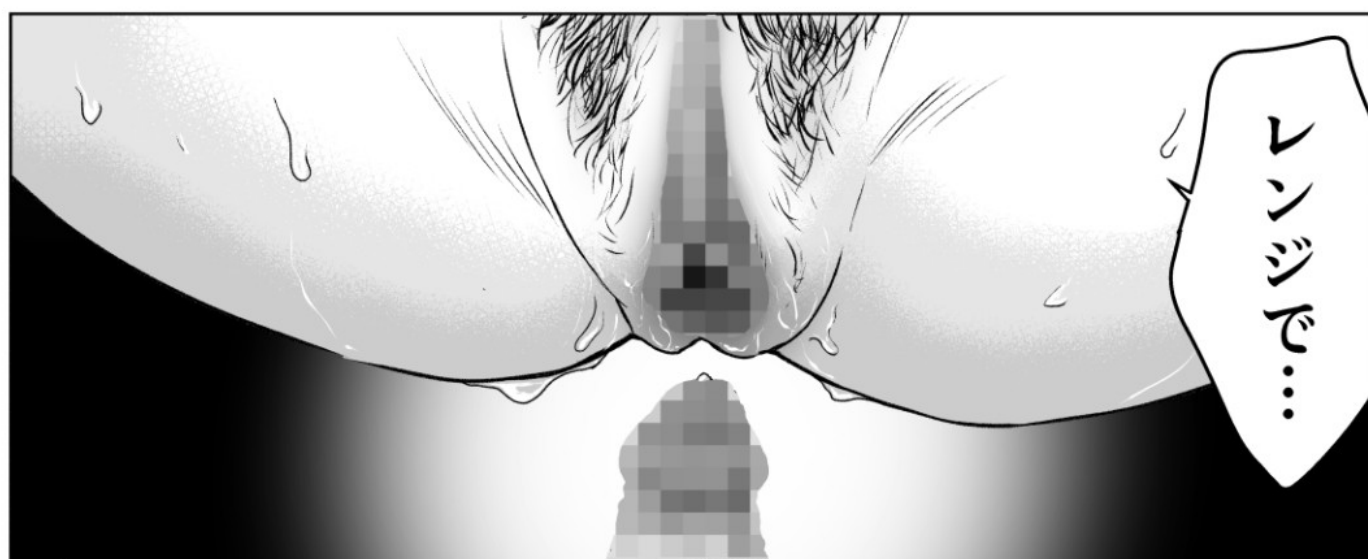
なかッ...
あああ!

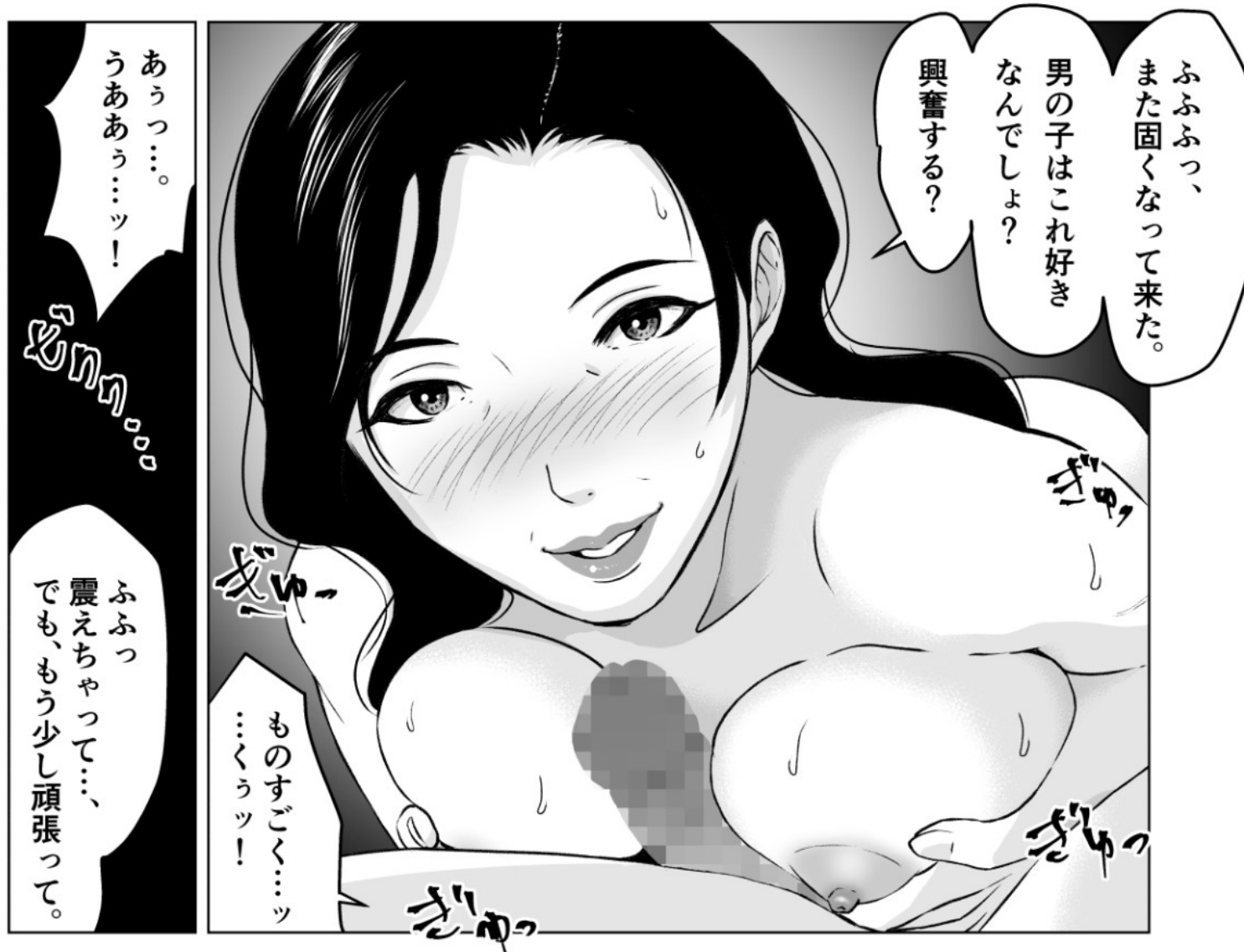
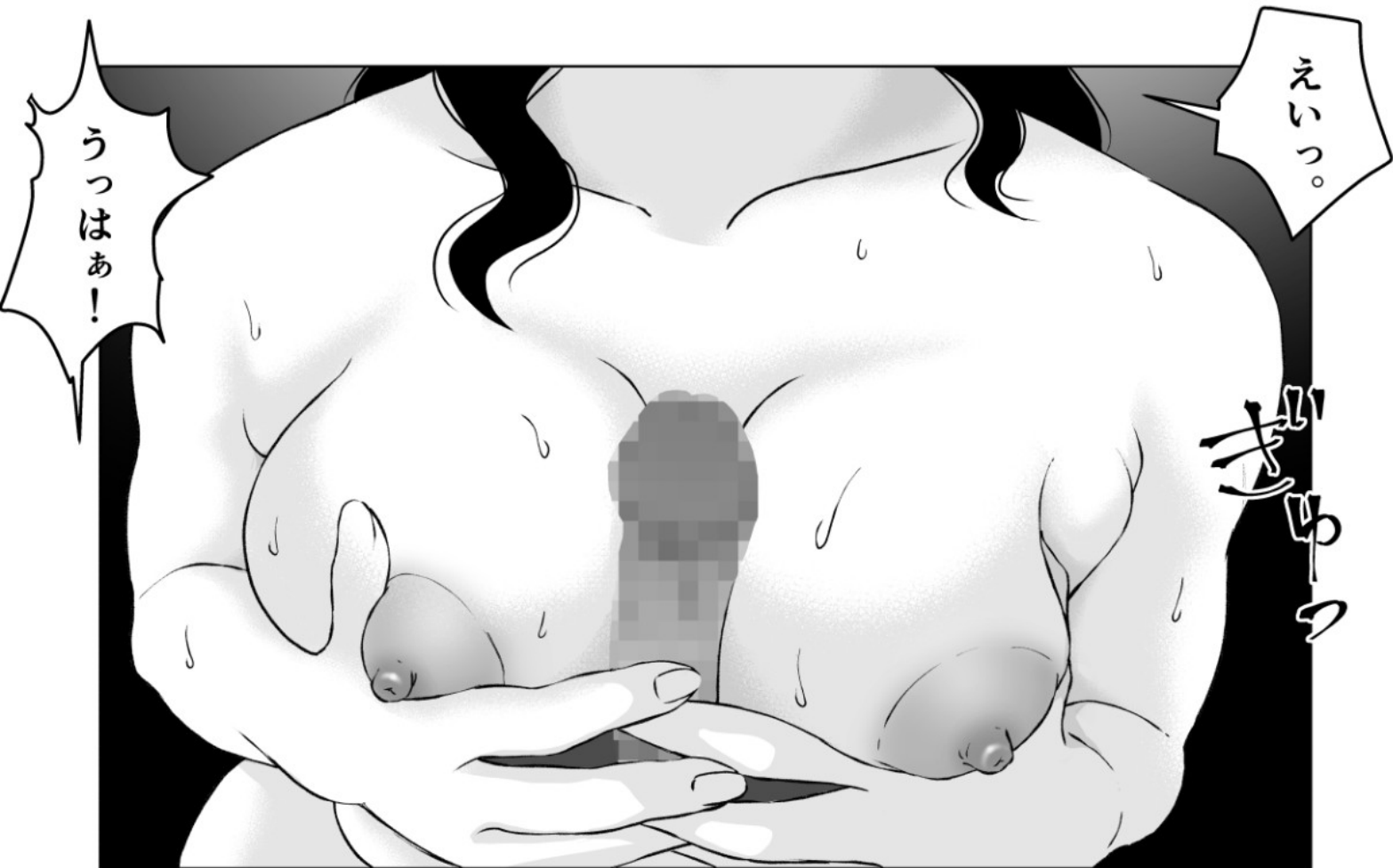














奥、
奥を突くの！

ふりゃ

お、お尻ッ
お尻掴んでッ

ふりゃん

ふりゃん



お……く……ッ
……イクッ
いくうううッ！

ンアああああッ！
イイ！……イイのお！

グッ

僕もッ
……限……界……ッ……！

グッ

グッ

グッ

グッ！

…かなこさん。
このキズ…。

ああ、気になる？
古傷よ。

結婚する前、
浮気を疑われて…



ケンカを止めに
入った時に、
…ズブリ。

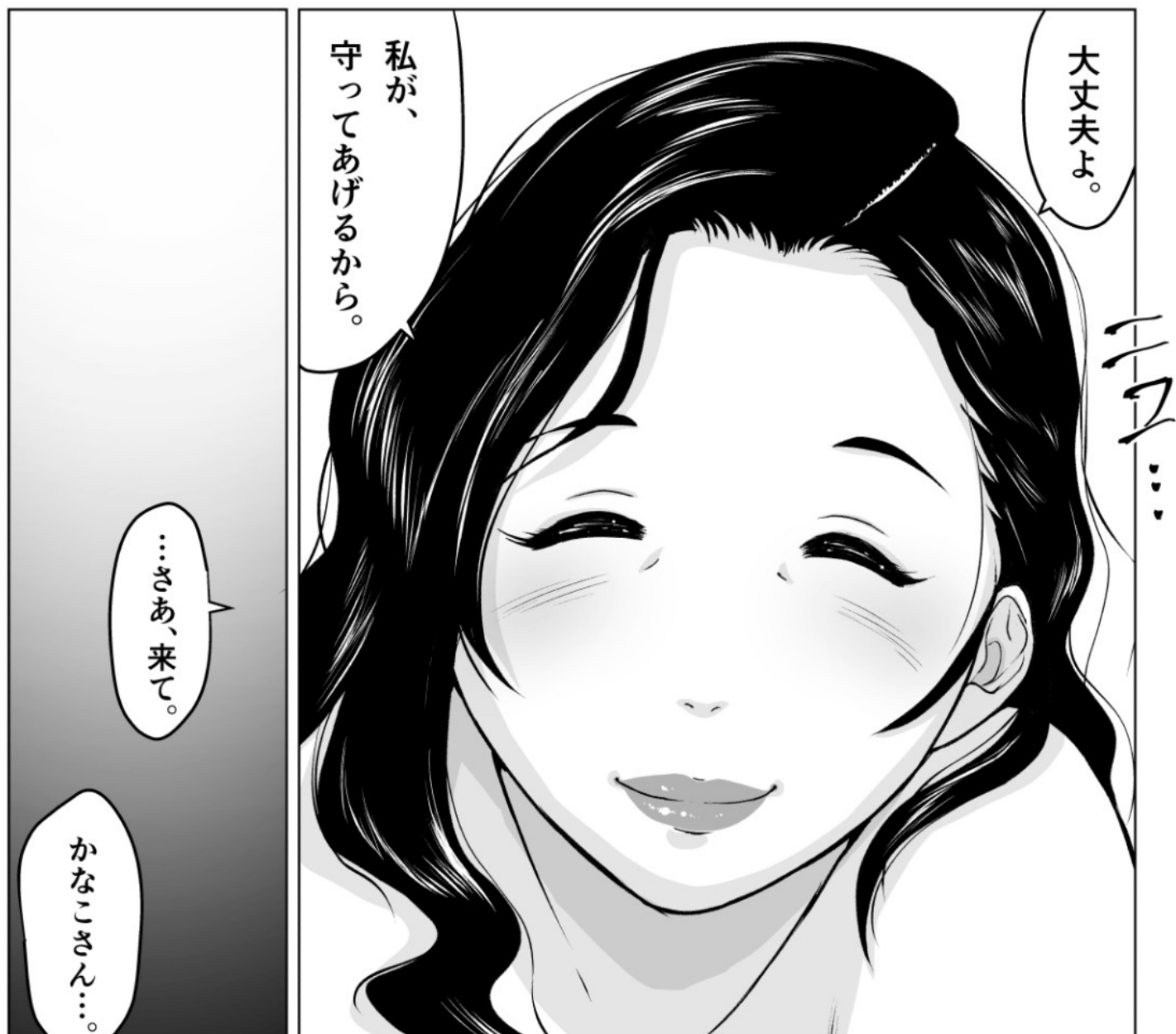
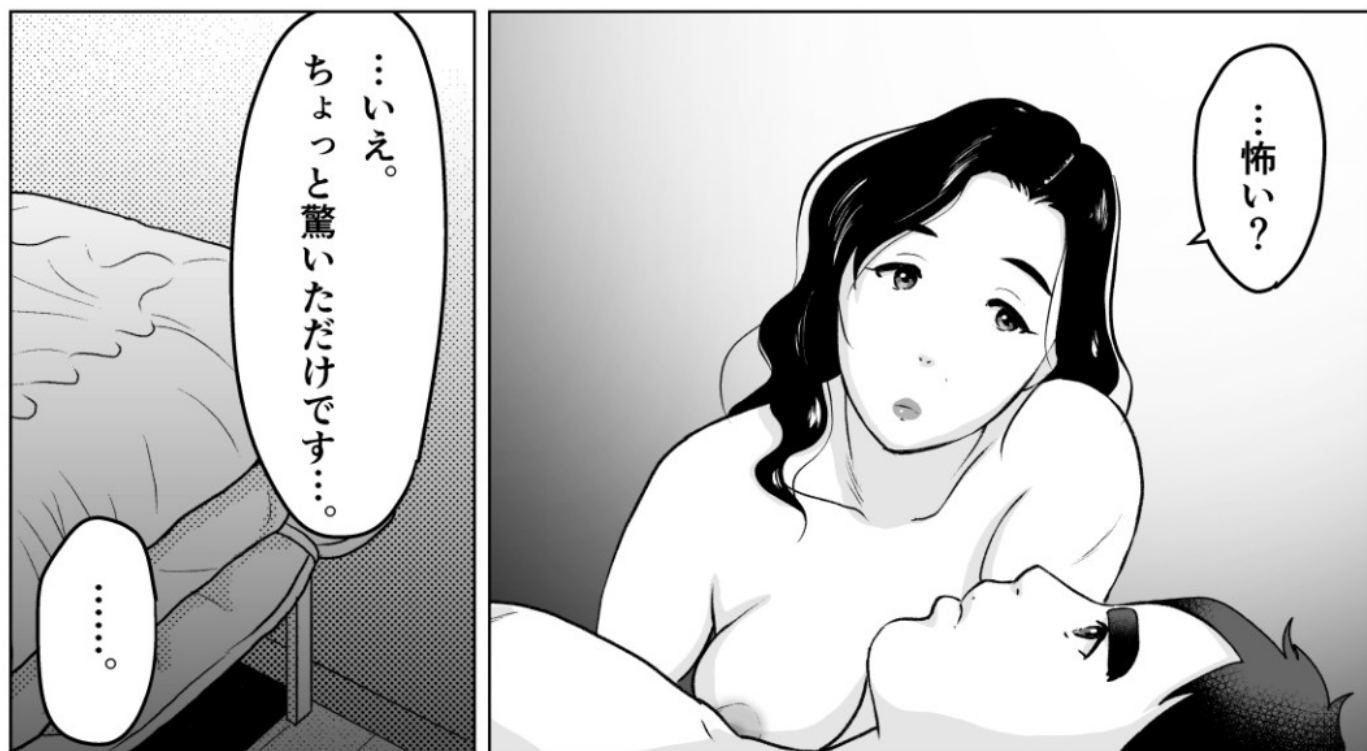
あの人、泣いて泣いて、
なんだか可哀想に
なって許しちゃった。



寝とりやがって！
ぶっ殺してやるッ！

待って！
聞いてください！

誤解だったんだけど、
あの人キレちゃって
聞かなくて。



1年後

はあ

はあ

ズグー
ズグー

胸が大分
張ってきたわ…

妊娠してあの人も
働く様になったし。

マモル君は心配しないで
将来のために、しっかり
お勉強頑張ってるね。

…かなこさんに
色々と弱みがある僕は、
彼女の言うに任せている。

でも、もし旦那さんに、
お腹の子が自分の子じゃないと
わかってしまったら…。

…僕は、
殺されるのかもしれない。